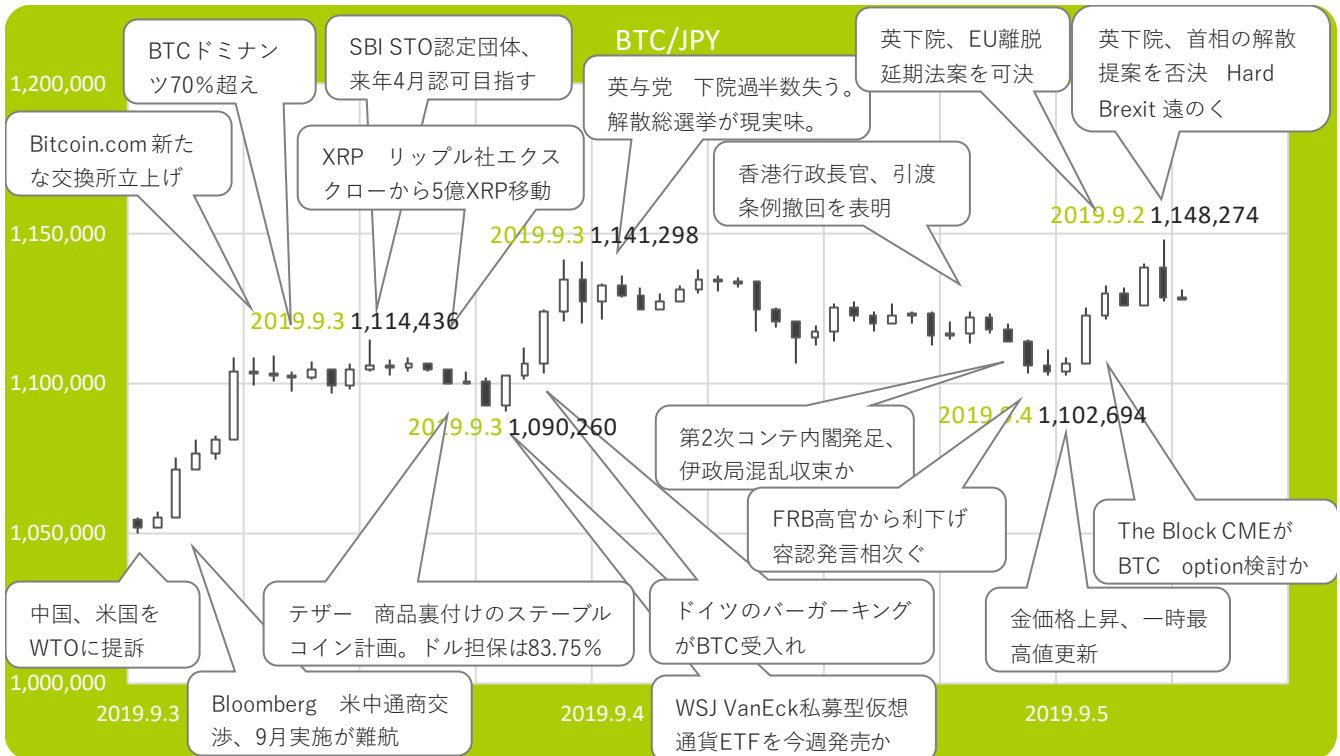


【私募型 ETF に賛否両論、それでもビットコイン相場に強気な理由】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	1,128,517	18,842	27.7	31,603	7,185
前日比	▼0.5%	▼2.2%	▼1.3%	▼2.0%	▼2.8%

Review

合意なき離脱懸念後退

昨日のBTC相場は高値圏での揉み合い。但し、上値も重く、月内の高値を更新するも小幅な反落を見せている。香港情勢の悪化や米中摩擦の激化に加え、VanEck社らの私募型BTC ETFの今週リリースとの報もあり底値圏から急反発を見せていたBTC相場だが、その私募型「ETF」の買い材料についての有効性に疑問の声も上がり始めたこともあり上値を重くしていた。更に香港の林行政長官がデモの元となった引渡条例の撤廃を表明、またイタリアでも連立協議がまとまりコンテ第2次内閣が発足するとやや値を落としていた。しかし、FRB高官から利下げを容認する声が続く中、金価格が急騰、史上最高値を小幅更新すると、BTCも反発を見せた。CMEがBTC optionを検討との報道もプラスに働いたか。しかし英下院がジョンソン首相の意向に逆らってEU離脱延期を可決、更に同首相の提案した解散総選挙が否決されると上値を重くしている。

Outlook

私募型「ETF」に賛否両論

本日のBTC相場は引き続き底堅い展開を予想する。私募型「ETF」について、Grayscale等の私募BTC投信と同じ商品が増えるだけや単にVanEck社の宣伝に過ぎないと否定的な見方と、一定の買い材料と評価する見方が交錯している。ただ、同社がこうした戦略に出た背景にはETF承認を待てない投資家のニーズがあると考えられる。昨日はFRB地区連銀総裁から利下げに肯定的な発言が相次ぎ9月の50bp利下げの織り込みが3割に達した。前回FOMCから米10年金利は50bp以上低下したのに対しBTCの上昇は僅かであり、上値余地はまだあると考える。

著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。